

< 戦 評 >

第62回北海道道民バスケットボール大会(男子A・男子C)

平成22年7月19日(月) 江別市民体育館

【男子A 決勝】

宮田自動車 62-61 旭川キシイ
1P 19-26 2P 15-9
3P 11-14 4P 17-12

[スタート5]

宮田自動車 5・16・21・25・55
旭川キシイ 5・6・7・8・9

[1P]

お互いハーフコートマンツーマンでスタート。開始早々、旭川キシイは#5の3pでリズムをつかむ。一方、宮田自動車は#25のゴールで得点を重ねる。26-19旭川キシイの7点リードで終了。

[2P]

旭川キシイは#12のジャンプシュートで連続得点する。宮田自動車は#2のシュートから始まり、出場している全員が得点に絡むようになった。宮田自動車の足がオフェンスでもディフェンスでも動いているのが印象的であった。

[3P]

一進一退のゲーム展開となるが、旭川キシイがナンバープレーやスクリーンプレーで確実に加点した。旭川キシイが4点リードで終了。

[4P]

常に旭川キシイのリードでゲームが進む。旭川キシイ#12のジャンプシュートが決まり、一時7点リードとなる。その後もシーソーゲームとなるが、残り10秒宮田自動車1点ビハインドで、最後は#55のジャンプシュートが決まりゲームセット。宮田自動車が優勝した

【北海道バスケットボール協会 金山大輝】

【男子C 決勝】

釧路市役所 87-76 フライトクラブ
1P 25-15 2P 26-24
3P 15-14 4P 21-23

[1P]

立ち上がりから釧路市役所は#18のインサイドや#13のミドルなどバランスの良いオフェンスから得点を重ねる。一方のフライトクラブは、アウトサイドのシュートを中心に攻めるが確立が悪く、得点につながらない。両チーム共にディフェンスリバウンドは確実に取り、一方的なゲーム展開にはならないが、釧路市役所がインサイドを優位にゲーム運びをして釧路市役所10点リードで終了。

[2P]

フライトクラブは#21#5がファーストブレイクで連続得点をして追い上げようとするが、ミスを連発して、逆に釧路市役所の3pなどの7連続得点でリードを広げる。フライトクラブも追い上げるが、釧路市役所の12点リードで終了。

[3P]

フライトクラブはミスを重ねて得点が取れない間に、釧路市役所はブレイクやゴール下などで得点を加えていく。釧路市役所#4が4ファールでベンチに下がると、フライトクラブはパスが回りはじめ、勢いを盛り返したところで釧路市役所のタイムアウト。その後は一進一退で釧路13点リードで終了。

[4P]

釧路#4がコートに戻り、オフェンスリズムが良くなり得点を重ねていく。一進一退を続けるが、フライトクラブのシュートが入らなくなり、逆に釧路市役所がブレイクでリードを広げた。釧路市役所の選手層の厚さがフライトクラブに勝り、釧路市役所が勝利をおさめる。

【北海道バスケットボール協会 須戸英博】